

発行所 **日本基督教団**
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX03(3207)3918

発行人 内 藤 留 幸
編集主筆 竹 澤 知 代
印刷所 株式会社きかんし



あの日から半年が過ぎた。一瞬にしてひっくり返され壊されてしまった日常。毎朝目覚める度に、夢であって欲しいと願わずにはいられない受け入れがたい現実、それから半年が過ぎた。涙に沈みきり、もう一度立ち上がろうとすることが、波に飲まれて逝った人々への裏切りであるようにさえ思えた日々、しかし、暮らしを取り戻すことで、地震を津波を、嘲笑ってやりたいとも思うのだ。

(教団新報への通信から)

半年前に、私たちは悲鳴を聞いた。慟哭を聞いた。そして、慰めるべき己の言葉の貧しさを恥じ、精一杯に延びさなければならぬ手の力の足りなさを嘆いた。半年が経って、今私たちは何をなすべきか、私たちに何ができるか。改めてその声を、その祈りを聞くことから始めなくてはならない。ここに、被災3教区の祈り・叫びを、各教区総会議長の声を通して届ける。

東六番丁教会 高橋和人

▼毎週利用する地下鉄に、節電のために止められているエスカレーターがあつ

最初の時のことだ。一步踏
 み出して、たたらを踏むと
 いうのだろうか、転びそう
 になった。エスカレーター
 は全く動いていない。もう
 一度やり直したが、違和感
 は残った。その後は、普通
 の階段を上るのと変わら
 ず、頂上まで辿り着いた。
 そこから床に足を踏み出し
 て、また戸惑う。前のめり
 になった。▼多くの人が同
 様の経験をしたと思う。エ
 スカレーターが停止してい
 ることは、目で見て、頭で
 は承知している。しかし、
 足の方に思い込みがあるよ
 うなのだ。無意識のうちに、
 エスカレーターの慣れた動
 きに歩幅をそろえてしまっ
 てるのだ。▼運動会でお父さん
 が転げるのも、同じ理屈だ
 と聞いたことがある。若か
 った時のスピードが、体の
 内に、記憶として残ってい
 る。しかし、運動不足の足
 がついて行かないから転ぶ
 のだそうだ。▼改めて地震
 のことを思う。依り立つ地
 面が崩れた。依って立つ生
 活が無に帰した。安心・平
 和の根拠が崩れた。当たり
 前が「当たり前」でない
 のは本当に辛い。▼数日後、
 またこのエスカレーターに
 乗った。矢張り最初の一步
 に戸惑う。▼険しい階段を、
 自分の足で、一步、一步登っ
 て行かなくてはならない。

あの日から主に導かれて

奥羽教区被災教会と共に



邑原 奥羽教区総会議長

地震と津波、奥羽教区内の教会はすべて少なからず被災の中にある。しかし、すでに報告されているように津波による被害の大きさに誰の目も奪われている。確かに甚大な被害は、その総額を計算することができ

ない、津波被害を受けている宮古教会と新生釜石教会は、抜本的な再建計画に着手できない。もちろん、そこには地方自治体の判断が直ぐに出

ないというところもあるが、各教会とも、建築や整備が終わっていたから会堂建築に備えてはいなかったのだ。さらに高齢化した信徒が、再建に向けて、なかなか腰を上げることができな

い。何とかしなければと思う思いと、自分たちの力で何とかしたいという思いとが交錯しているからだ。何回も何回もお訪ねする中でその思いは当然だと思えて仕方がない。でも、そのままにして

風が吹き込んで来る状態に置く事はできない。役員会で決断し、例え、500万円費用が必要になろうと応急処置は行わなければならない。まず、役員会で教会員の意見を集約して取りかからなければならない。確かに各教会への各地の教会や知友人からの献金が届いていて、それを用いることができるとして、決して充分ではない、教区や教団全体の祈りが必要である。教会の再建に向け考える

ことは、また教会の立てられている地域へどのように仕えることができるかを問うこととなる。宮古教会・新生釜石教会はもちろん、津波被災地となった大船渡教会も、3月から今日に至るまで、地域の復興復興のために共に働き続けているため、当然のように礼拝堂も集会室も庭すらも多くのボランティアの受け入れ拠点としても活動を続けてきた。

奥羽教区はできる限り現地被災教会の負担を軽減するために奥羽教区事務所で調整することとした。しかし、ボランティアをされる方々は、まさに善意の塊で、今、自分たちが出かけることがよいと思われ

直接出かけられた。何度も奥羽教区事務所を通すように伝えてもホームページやブログに掲載してもほとんど無視された。もちろんきちんと教区を通された方については、宮古教会は盛岡YMCAと協力して宮古市や近隣の町村での働きを続け、新生釜石教会は独自の自称コーディネーターにつなぎ釜石市と近隣の町村での活動を継続し、大船渡教会は、チャイルドファンドジャパンと協力し社会福祉協議会につながるために奥羽教区事務所調整することとした。これは現在の状況でも継続されている。

いずれの教会も、多くの方々から送られてきた支援物資を、奥羽教区事務所整理して、配布状況に応じて配送ボランティアをお願いしたり、訪問する方に委ねるなどして、配布を行っている。しかし、5月初めから不思議なことに小職の携帯電話に「〇〇の商店街の者だが、いつまで無料配布を続けるのか」という内容の苦情が来始め、ついに6月末で支援物資の収集と配布を終了することを決断した。地域の被災された方への配慮として始めた支援物資配布が、地域の個人商店営業を妨げることになってしまったことは本当に申し訳ないことでした。各教会の役員会の決定に基づき収束することを決定しました。それでも大船渡教会は7月末まで

規模を縮小して行い、宮古教会も新生釜石教会も教会に残っているものを配布することを続けています。地震のため、使用不能となった千既教会の礼拝堂・牧師館については、移転新築を前提として検討している。ただ、この教会の抱える課題は、津波被災教会と同じく、少数の信徒が高齢化していること、もちろん若い方々もおられるが責任が重い。津波被災に目が行く中で決して忘れてはならない震災の被害が甚大となっている教会である。この教会にこそすべての祈りを集中することが必要。さらに内陸部に位置する一関教会、江刺教会、北上教会、遠野教会、秋南教会、

東日本大震災、その後とこれから

関東教区の被害状況



秋山 関東教区総会議長

関東教区の場合、東日本大震災によって被災した被害と救援活動は、奥羽教区や東北教区とも性格が違っています。栃木、茨城、群馬を中心に教会・付属幼稚園・保育園等の建物被害、信徒の家屋の被害が中心で、その復興と再建が課題です。関東教区内の教会の被害

の概況について。特に教会建物に大きなダメージを受けたのは、水戸中央教会（茨城）、伊勢崎教会（群馬）、宇都宮教会（栃木）で、それぞれの教会を中心に、その再建計画と懸命に取り組んでいるところだ。

水戸中央教会は街の中心の好立地にある教会ですが、付属館と牧師館に壊滅的な打撃を受け、倒壊の危険があり、解体工事が終わりました。牧師は現在、外に家を借りて仮住まいの生活をしていきます。再建が急がれます。宇都宮教会は大谷石で建てられた礼拝堂の構造が問題で、余震のたびごとにつぶれないかと不安で、伝道集会に人を招けないという状況。建物全体の建て替えに向けて、検討しています。伊勢崎教会は駅の前にある風格のある古い建物ですが、これも構造に問題があるため、西脇の壁が外に向かって開きつつあり、余震のたびにその角度が大きくなっていますので、大規模な補修工が必要そうです。また益子教会の場合、教

会の塔が倒壊しそうで解体したところ、腐食が進んでいることが判明し、当初の予算をはるかに上回ることで分りました。教会員がほとんどいない教会ではこの費用を負担するあてがなく、教区が責任主体となって再建しなければならぬところもあります。このほかにも、専門家に よる建物簡易診断によって、桐生東部教会や安中教会、原市教会、勝田教会大宮チャペルなど、はじめにはそれほど大きな被害とは見えなかったところも、被

害が指摘され、かなりの補修を必要とするところが出てきています。関東教区144教会のうち何らかの被害を受けた教会は33教会、このほかに、付属幼稚園の施設で大きな被害を受けたところ、四条町教会の清愛幼稚園、宇都宮上町教会のみふみ幼稚園、西那須野教会の西那須野幼稚園、水戸教会の聖光学園保育園、鹿島教会の鹿島幼稚園、水海道教会の二葉幼稚園、竜ヶ崎教会の竜ヶ崎幼稚園・保育園など、分かつていただけでもかなりの負担になることが予想されます。

さらに福島原発事故による放射能汚染のために園庭の除染を強いられるところがあります。幼児期の子どもの教会の祈りと支えが必要です。また、信徒宅の被害が茨城地区の水戸中央教会や日立教会、鹿島教会、勝田教会、栃木地区の宇都宮上町教会などを中心に多数あり、保育園で約8千万円。このほかに、西那須野にあるアジア学院は本部棟、研修棟、寮などに壊滅的な被害があり、余震のたびに、中の人たちは外に飛び出なければならぬという状態がしばらく続きました。全体の再建に7億円を要するとのこと。アジアやアフリカ、南米などから来て有機農業を学び、それぞれの国に帰って農業指導者として奉仕する人たちの研修の機関で、キリスト者の国際的な証しの場として有益な働きをしている学院です。全国の教会の祈りと支えが必要です。

また、信徒宅の被害が茨城地区の水戸中央教会や日立教会、鹿島教会、勝田教会、栃木地区の宇都宮上町教会などを中心に多数あり、保育園で約8千万円。このほかに、西那須野にあるアジア学院は本部棟、研修棟、寮などに壊滅的な被害があり、余震のたびに、中の人たちは外に飛び出なければならぬという状態がしばらく続きました。全体の再建に7億円を要するとのこと。アジアやアフリカ、南米などから来て有機農業を学び、それぞれの国に帰って農業指導者として奉仕する人たちの研修の機関で、キリスト者の国際的な証しの場として有益な働きをしている学院です。全国の教会の祈りと支えが必要です。

規模を縮小して行い、宮古教会も新生釜石教会も教会に残っているものを配布することを続けています。地震のため、使用不能となった千既教会の礼拝堂・牧師館については、移転新築を前提として検討している。ただ、この教会の抱える課題は、津波被災教会と同じく、少数の信徒が高齢化していること、もちろん若い方々もおられるが責任が重い。津波被災に目が行く中で決して忘れてはならない震災の被害が甚大となっている教会である。この教会にこそすべての祈りを集中することが必要。さらに内陸部に位置する一関教会、江刺教会、北上教会、遠野教会、秋南教会、

三戸伝道所が被害が大きく今後修繕に入ることになるので、これらにも支援を検討しなければならない。さらに、教区関係施設としてひかり幼稚園（宮古）釜石保育園（新生釜石）千既小羊幼稚園（千既）睦保育園（一関）認定こども園ひかりの子（日詰）遠野聖光幼稚園（遠野）へも祈りを集めなければならない。もちろん法人別で状況が違ってくることもあるが、被災地にある教会関係施設として主の御業を担ってくださっていることを覚えていたい。余震は今もなお続いている。それも震度5という大きさだ。この様な中、全国の教区・教会から、信徒の方々から、神の大きな愛の

賜物が届けられた。確かに被災したことは突然であり、誰も備えなどあるわけがない。しかし、この奥羽の地で、明らかになったのは、主の大きな愛が確かに現れていることだ。確かに、教会員の亡くなられた大船渡教会や内丸教会の痛みがある。教会員の家族が亡くなられた教会、家屋や家財を流出・消失した教会員がおられる。この方々に、さらに地域の方々、主イエスにある恵めの言葉を語り続けることが許されている。あの日から主に導かれて「わたしたちの助けは、天地を造られた主の御名にある」と。

（奥羽教区総会議長・江刺教会 邑原宗男）

（関東教区総会議長・上尾合同教会 秋山徹）

嶋利さん



講師、近藤勝彦東京神学大学学長

第 18 回「全国牧師夫人の会」開催

主題 ◆ テーマ ◆

共に歩む幸い ◆ 試練が恵みに変わるとき ◆

第18回「全国牧師夫人の会」が、8月23～25日、2泊3日で、鎌倉教会を会場、KKR鎌倉わかみやを宿泊会場にして開催されました。
12教区45教会から、子ども6名を含めて、92名の参加者が与えられました。
今回は婦人会連合の協力を得て、全国牧師夫人だより「道のり」で、この会の案内を、全国全ての教会に届けましたが、東日本大震災もあり、参加出来なかった方が大勢おられました。
2年に一度開催のこの会は、15～17回のテーマを踏まえ、「共に歩む幸い」という大きな主題のもとに、「試練が恵みに変わるとき」のテーマが与えられました。

講師は近藤勝彦東京神学大学学長。
東日本大震災からの復興の祈りで始まった開会礼拝では、篠田真紀子牧師は、自らの辛い体験をもとに、「二度と講壇に立つことが出来ないと思った者が、今この場に立ち、神の御言葉に触れ、恵みが与えられた」と説教されました。私たち



鎌倉教会を会場に、92名の参加者

のテーマが、もう集約されたね」というささやきが委員の中から聞こえました。その後のパイオルガンの演奏は、夏の暑さをも心地よく感じさせてくれました。
近藤先生は講演の冒頭で、次のように語られました。「講師を引き受けるにあたり、自らが（夫人に）仕えられている牧会者としては戸惑いがあるものの、牧

会者を送り出す側の東神大学長としての責任を思い、引き受けました」。また、「牧師夫人は大変ですね。右のことを言っても、左のことを言っても、何を言っても気を遣い、文句を言われたりして。だから何を言っても良いのですよ。同じことですから。気にしないことです」と話して聴衆を笑わせました。
本題に入り、今日の牧師夫妻の多様な現実を踏まえて、「聖書による結婚とは何か」について、神の前での約束、契約で結び合わされた者が神の救いの業に関わるという重責をどのように担えるか。聖霊による働き、神に頼るしかない」と話されました。

そして2日目には、夫である牧師について多く触れ、「牧師夫人の悩みは夫人させられるものでした。個人の問題ではなく、夫である牧師との関係の中で考えるべきもの。牧師はどこで育つのか、支えられるのか。恵み」とは何か、ずばり御言葉に打たれること、「実在の王イエス・キリストが、今日、今おられると知ることだ」と語られました。
「安っぽく救われないように」と言われて、笑ってしまいました。力強いこの講演は、正に、御言葉に触れ、恵みにあることを実感させられるものでした。

また、3人の証があり、また。郷かしこ先生は、「牧師夫人母と私」と題し、お母様を通して「牧師夫人とは何か」を問う、真摯な思いが伝わるものでした。鶴飼栄子さんがご自身の牧師夫人として歩まれた中で、の苦悩と喜びと感謝を語られ、感銘を受けました。入山静夫さんが義母である白水傳恵（しろうつたえ）牧師夫人の生涯を語られました。
名取教会の大越美穂さんによる東日本大震災につい

ての報告、にじのい信愛が怪我をしたとの知らせで帰られた方と、現実の試練が迫ります。しかし、「恵みの中に、キリストの救いの中にある」ことを確信しながら歩みたいと思います。礼拝、講演、証と、その内容をもっと詳しく知りたいと思われる方は、全国牧師夫人会だより「道のり」第54号、2012年1月発行に掲載しますのでご覧下さい。
（竹澤潤子報）
牧師夫人委員



渡辺多恵子さん

全国教会婦人会連合中央委員長に就任



東京都生まれ。十貫坂教会員。本年6月、第22期全国教会婦人会連合中央委員長に就任。

婦人会連合の力を改めて認識させたのは、09年6月、千葉・幕張メッセで開催した40周年全国集會に1,155人の出席者を集めたことだった。
超教派で行われた日本プロテスタント伝道150年集會は別として、近年の教団主催の一集會の出席者としては、記録的な人数である。
さる69年、全国教会婦人会連合が誕生したとき、第1期中央委員長に就任したのが、渡辺さんの母、故林敏子姉だった。40数年の歴史を経て、母娘2代目の中央委員長が誕生したことになる。

教団の状況を反映して、九州・西中国2教区が、全国婦人会連合から離脱したままだが、特

00部にまで落ち込み、購入してくれない教会が増えた」ことを、渡辺さんは懸念している。近年、「婦人」の表現に違和感をもつ女性が増えて来て、中央委員会でも2年前、名称問題が議論されたが、結局、現行のままに落ち着いた。

また、3人の証があり、また。郷かしこ先生は、「牧師夫人母と私」と題し、お母様を通して「牧師夫人とは何か」を問う、真摯な思いが伝わるものでした。鶴飼栄子さんがご自身の牧師夫人として歩まれた中で、の苦悩と喜びと感謝を語られ、感銘を受けました。入山静夫さんが義母である白水傳恵（しろうつたえ）牧師夫人の生涯を語られました。
名取教会の大越美穂さんによる東日本大震災につい

また、3人の証があり、また。郷かしこ先生は、「牧師夫人母と私」と題し、お母様を通して「牧師夫人とは何か」を問う、真摯な思いが伝わるものでした。鶴飼栄子さんがご自身の牧師夫人として歩まれた中で、の苦悩と喜びと感謝を語られ、感銘を受けました。入山静夫さんが義母である白水傳恵（しろうつたえ）牧師夫人の生涯を語られました。
名取教会の大越美穂さんによる東日本大震災につい

また、3人の証があり、また。郷かしこ先生は、「牧師夫人母と私」と題し、お母様を通して「牧師夫人とは何か」を問う、真摯な思いが伝わるものでした。鶴飼栄子さんがご自身の牧師夫人として歩まれた中で、の苦悩と喜びと感謝を語られ、感銘を受けました。入山静夫さんが義母である白水傳恵（しろうつたえ）牧師夫人の生涯を語られました。
名取教会の大越美穂さんによる東日本大震災につい

教師検定試験公告

2012年春季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 一、受験要綱の申し込み
受験要綱と教団指定の願書用紙は160円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。
なお、正教師受験志願者は「教師検定規則第12条②」によるものに限りません。
- 二、受験願書の提出
受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
- ①教区締切 2011年11月14日（月）
（教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください）
- ②教団締切 2011年12月5日（月）
（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

- 三、補教師について
＊受験料は正教師1万3千円、補教師1万円
①「説教」「釈義」の課題テキスト
旧約 列王記上 8章27～34節
新約 ヨハネによる福音書 11章17～27節
②コースによつて「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱で確認下さい。
③補教師（CⅢコース）の牧会学の課題
④「牧会とは何か」について論述してください。
⑤今回よりAコースについては、教師検定規則第4条第3号にもとづく試験が実施されます。
同対象者には、教師検定委員会より神学校を通して説明がなされますので、それにもとづく手続をおこなってください。
- 四、正教師について
受験志願者は、直接教師検定委員会までお問い合わせください。
- 五、提出物（説教、釈義、牧会学等）締切について
当委員会への提出締切日は、2011年12月12日（月）必着です。
- 六、学科試験と面接試験について
学科試験は2012年2月28日（火）、面接試験は2月29日（水）、3月1日（木）に東京・日本キリスト教会館ビル内（教団会議室）にて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。
2011年10月1日
日本基督教団教師検定委員会
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話（03）3202-0546